

和歌山県薬剤師確保計画（新規）

【背景】

令和3年6月に公表された検討会とりまとめにおいて「薬剤師の従事先には地域偏在や業態偏在があり、特に病院薬剤師の確保が喫緊の課題」とされたことから、医療計画作成指針において、地域の実情に応じた薬剤師確保策の実施が新たに記載された。

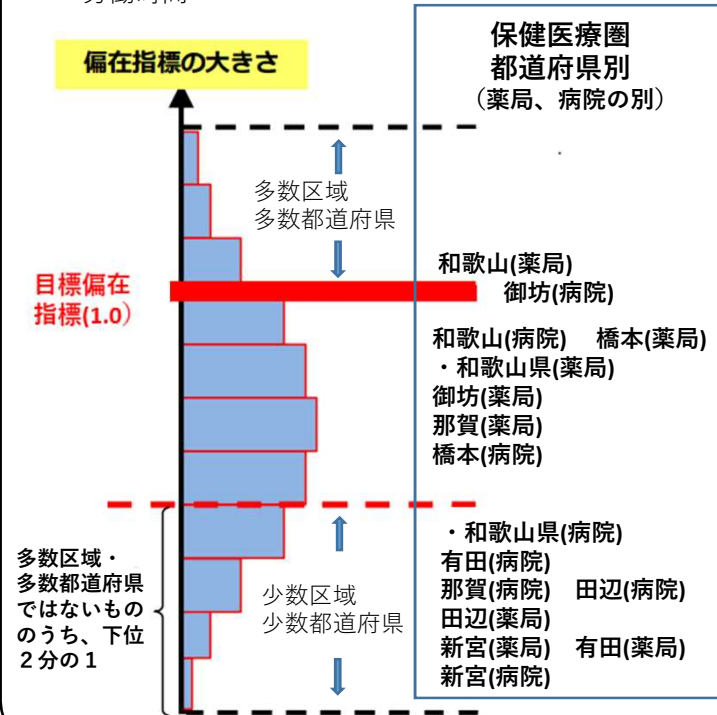
これを踏まえ、厚生労働省において薬剤師の偏在状況を相対的に示す指標として偏在指標を算定、さらに各都道府県で確保計画を策定する際の参考として「薬剤師確保計画ガイドライン（以下「ガイドライン」という。）」が作成され、各地域の偏在指標が示された。本計画は、医療計画作成指針及びガイドラインに基づき作成するもの。

【薬剤師偏在指標】

$$\text{薬剤師偏在指標} = \frac{\text{調整薬剤師労働時間※}}{\text{病院・薬局の推計業務量の時間}}$$

※調整薬剤師労働時間

勤務形態（常勤又は非常勤）、性別、年齢階級によって労働時間が異なることを踏まえて標準化した労働時間



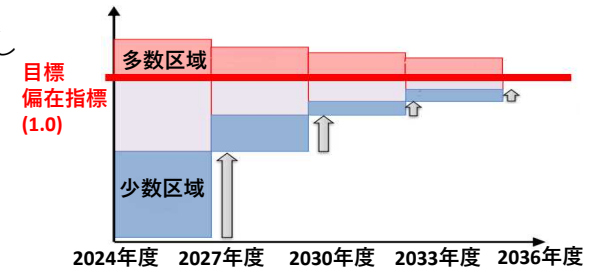
【計画の概要】

○目標年次・計画期間

- ・2036年までに薬剤師偏在是正を達成
- ・偏在状況の変化を踏まえた見直しを行う機会を設ける観点から1計画期間を3年間
- ・この間にも必要に応じて見直し

○偏在是正の進め方

- ・1計画期間ごとに薬剤師少数区域を離脱
- ・これを繰り返し目標偏在指標1.0に収束



○2024～2026年度計画期間の目標薬剤師数及び要確保薬剤師数

- ・ガイドラインで示された算定式による薬剤師数と、求人状況に乖離
- ・算定式と県内求人状況を踏まえ、要確保薬剤師数を下表のとおり設定

	和歌山	那賀	橋本	有田	御坊	田辺	新宮	合計
薬局	-	-	-	11人	-	8人	7人	26人
病院	26人	8人	2人	2人	-	7人	12人	57人

- ・目標薬剤師数 薬局1,285人(26人増)、病院547人(57人増)

○2024～2026年度計画期間の薬剤師確保策

《薬剤師少数区域の確保に重点を置き実施》

- ・県内求人状況の薬学生への積極的な情報提供と魅力の発信
特に病院勤務の薬剤師の業務内容と魅力の発信
- ・薬学実務実習の内容の充実
- ・県立医科大学薬学部と県内病院・薬局のマッチング推進